

Mobile Robotics ロボットソフト組込み



目指すは未来のロボットエンジニア

移動式ロボットの構造を設計し、その動きをソフトウェアで指示する技術。アイデア次第でこの世にない新しいロボットを作ることができ、その技術とアイデアは社会貢献につながると期待されています。ロボットは、工場の中で安全かつ効率的に物を運んだり、災害現場や宇宙などで人に負担の大きい仕事を担っています。話をしたり楽器を演奏したりと、生活を豊かにしてくれるロボットも登場するなど、人と共存するロボットが増え、エンジニアの活躍の場も広がっています。



前回大会金メダリストからメッセージ!

所属：青森県立弘前工業高等学校

芳賀 陽人さん

よく分からずに困ることがあったら、メンバーの人に聞いて、課題に取り組んでもらいたいです!

小林 大和さん

先生方と協力して、ぜひ、2連覇を狙って頑張してほしいなと思っています!

必要なのは機械、電子、情報の複合的な技術力!

競技では、移動式ロボットの設計・製作やメンテナンス、プログラミング能力を競います。大会当日までに、事前公開された資料を参照しながらロボットを製作します。また、製作したロボットの特性を理解し、搭載されているセンサからの信号を活用しながら、ロボットプログラムを作成します。大会当日、2名の選手が協力して、競技課題の目的を達成するロボットを実現します。

池田知純 主査
職業能力開発総合大学校

努力と技術が詰まったロボット

